














主管					分類記号		
起案者	係長	課長	課長補佐	部長	副市長	市長	
							
課内合議	課外合議		公開・一部公開・非公開				
    	教育長  生涯学習課長  教育次長 		一部公開・非公開の部分理由				
			公開可能時期				
			保存	永・10・5・2			
指示事項 あて先			起案				
			決裁				
			施行				
			完結				
先	經由		発信				
	件名	復命書					
平成27年6月24日(水)に、都内渋谷区アートフロントギャラリーを訪問し、北川ブラム氏と「食とアートの廻廊」開催について協議してまいりましたので別紙により							
復命します。							
平成27年6月25日							
企画財政課芸術文化振興係長 橋井 弘治 							

長野県との関係について

詩長

- ・県がこの芸術祭にどう関わってくるかが重要
- ・財政支援、実行委員会での位置づけを早く決定したい
- ・早期に知事と面談する機会を作って欲しい
- ・観光との連携等、県でなくては出来ない役割がある

実行委員会組織について

- ・市では、あらゆる各層に働き掛ける方向でいるが、その方向で進めて欲しい。
- ・実行委員会発足に当たって、キーパーソンには北川氏が協力を直接お願いする。
- ・市長が実行委員長に当たっていただくことはとても重要

開催経費について

- ・以前に話したように2億5千万円程度必要
- ・資金確保について、関係者で今後検討していこう
- ・北川氏のディレクター費用は、他の芸術祭との関係があり極端に安くはできないが、1,900万円かどうか。
27年500万円（基本計画作成） 単年度の契約で可、
28年700万円（実施計画作成）
29年700万円（芸術祭監修）
参考 市原市3000万円 第5回大地の芸術祭2000万円
- ・招聘アーティストとの交渉、費用支払いはアートフロントギャラリーで担当、広報宣伝は双方で任務分担する
- ・パスポート収入は10,000人×2,000円、20,000千円の見込みかどうか

その他 大地的芸術祭の

は？

- ・7月30日の見学会のコース設定と北川氏が行う
- ・今年度のシンポジウムと実行委員会の発足と同時開催できないか（11月では実行委員会の発足が遅過ぎてしまう）
- ・食とアートのほかにクラフトの要素を入れることは可能か
（クラフトは松本クラフトフェアが著名で、後発ではアピールが弱い）
- ・水の工場のほかに協力をお願いできる企業を探すことはどうか

⑤企業等寄附

- ・地元経済界には大手はいない。こうした分野に寄付をする文化が育っていない (市長)

3 大町らしさの表現方策

- ・水、山岳、風土、歴史、自然を活用する。
- ・「くろよん」を思い切って世界に発信しないか。(フラム氏)
- ・越後妻有大地の芸術祭では土木と芸術の融合を意識。土木から見たアート、アートから見た土木を一つのテーマとした。土石流モニュメントや砂防ダムなど好評だった。砂防事務所など何度も足を運んだ。(フラム氏)
- ・大町市には黒部ダムや高瀬ダムなど多くのダムがある。国交省大町ダムは有効活用に向け検討が始まっている。土木事業や自然エネルギーを一つのテーマとしを活かせればすばらしい。(市長)
- ・私と大町市のつながりのきっかけは、関西電力であり顔も効く。(フラム氏)
- ・市は関電、東電とのつながりは大きい。西沢東電元社長は市出身者 (市長)
- ・ダム等を通じ「くろよんおおまち」を世界に発信することとする。(フラム氏)

4 北川氏の総合ディレクター就任経費

- ・ディレクションフィーは、3年間で2,000~3,000万円程度 (フラム氏)

5 招聘アーティストへの制作経費

- ・製作費 (ギャラ+制作管理費) とディレクションフィーを一括してアートフロントギャラリーに支払う方法が、柔軟な対応ができ一番効果的。しかし、高額のギャラを北川氏が取っていると見られ評判は良くない。(フラム氏)
- ・個々のアーティストへの支払額は公表できない。公表すると相場が崩れてしまう。個々は公表できないがある程度まとめた段階では可 (フラム氏)
- ・私が手掛ければ、通常よりかなり安く依頼できる。(フラム氏)
- ・一括支払いか、分割払いかは今後検討課題とする。(市長)

6 その他

①阿部知事との懇談会を早期に実現させる。

- ・12月24日 11:30~12:00 (内定) 於、県庁知事応接室
阿部知事+北川フラム氏+牛越市長

②定期的な打合せの持ち方、北川氏からの指示伝達の方法

- ・できれば月1回の打合せ会を確保したい。(フラム氏)

③企画の核となる人物の選定

- ・市職員をベースとして欲しい。(フラム氏)

④プラットフォームの考え方

- ・カフェ的な雰囲気です事務局があり来客対応できれば理想的。来る時は自然が目的であっても、帰る時は地元とのふれあいが嬉しいもの。(フラム氏)

・駅前アップルランド等の候補地をフラム氏が視察する。

⑤観光キャンペーンと連携した誘客宣伝

- ・来るお客さんに対する商品化が必要。JTB等は、「来るまで」と「来てから」の商品化はしない。(フラム氏)
- ・宿泊はロッジや農家民宿の方が望ましい。→大町の良さを伝えやすい→地元との係りが厚い(丁寧な説明)→結果的に客層が良くなる。(フラム氏)
- ・食事のレベル等が重要。1回目の評価が出てからでは遅い。(フラム氏)
- ・大町は、アートと食はそこできるとは、観光インフラが問題。広報宣伝が最重要課題。露出機会の確保。SNSのフル動員。(フラム氏)
- ・乗合バスを活用した市内ツアーバスの交通手段の準備等。(フラム氏)

⑥ボランティア確保

- ・越後妻有大地の芸術祭では「こへび隊」として40人程度がエントリー。土日は良いが、平日は不足している。(フラム氏)
- ・ボランティアに有償と無償が混在するとうまくいかない。無償であることが重要。(フラム氏)
- ・市役所職員OBをガイドにお願いできないか。(フラム氏)
- ・何をやるかより誰がやるかを気にする気質がある。(市長)
- ・JC等から出向する形が取れないか。(市長)

⑦市民説明等

- ・芸術祭にぶら下がった方が得という雰囲気づくりを。(フラム氏)
- ・市長が行けと言う所はどこでも行く。(フラム氏)
- ・場合によっては市議会への説明もお願いしたい。(市長)
- ・来年は瀬戸内芸術祭なので議員の視察ツアーを行ったらどうか。(フラム氏)